

総務部長 あいさつ  
総務部 部長 市橋義昭

18年度総務部副部長、19年度総務部長と2年間総務を勤めさせて頂きました。この2年間は会の運営をつつがなく行い事を第一に勤めてきたつもりですが、至らない事も多々あり、皆様にはご迷惑をお掛けしました。

2年間を通して多くを学ばせて頂きましたが、最も大切なのは感謝する心だと分かりました。みなさまに「ありがとう」という心で例会を運営すれば気持ちは伝わる、という事でした。

その「感謝」という言葉をスローガンに掲げた岡崎会長が、毎回誰よりも早く会場に来て、みんなを迎えていた姿にも学ばせて頂きました。

改めて、どうもありがとうございました。

教育部長を1年間して  
教育部 部長 木田 英二

若経に入会してから初めての部長をして、例会運営がどのようにして出来るのか、しみじみ大変さがわかりました。担当副会長、副部長、部員の手助けが有り一年間の部長がつとまりました。

一分間スピーチという新しい企画を取り入れて、仕事以外の話しをしてもらい違う一面の会員の話が聞けたと思えました。

今年の教育部の例会は、5月は食と健康、6月は一泊研修で長府での歴史の勉強、7月は福祉・介護制度、8月は年金、特に7・8月は、時期的に話題となっていた問題についてお話しさせて頂きました。

また、9月はカラーコーディネート、10月は新エネルギー水素、2月は餅つき、3月は周年事業、と1年間の例会事業を行ないました。

今年の例会は皆さんどうでしたか？来年の教育部に新しい企画、一味違った例会を期待しています。

一年間、教育部員の皆さんお疲れ様でした。



企画部長 あいさつ  
企画部 部長 中川繁巳

平成19年度の企画部長中川です。この1年、自身の努力や集中力が欠如し、企画部だけでなく、会全体にもご迷惑をお掛けする事が多くありました。お詫びすることは枚挙に暇が無く、恥ずかしいばかりです。こんな私ですが、頼り甲斐のある先輩がたに見守られながらですが、1年間若経の一翼を担うべく活動をする事が出来ました。

例年催している献血・骨髄バンクドナー登録会や国際交流事業などに加え、19年度は宇部商工会議所青年部、宇部青年会議所、楠商工会議所青年部の4団体合同で事業を行いました。

様々な事業を企画し開催する中で感じた事は、(当たり前のことですが)ひとりでは何もできないという事です。部内の連携、会員・OB会員との連携、他団体との協力・・・、その他いろんな人達と関わり合う。この1年人並みには部長の職責を果たせず、先の当然の事を改めて勉強する事となりました。

かつて先輩会員の方に、「なぜ若経にいるのか」と尋ねられた事がありました。自問しても答えのない私でしたが、そういう疑問すら持ち合わせていませんでした。入会から2年あまり漫然と過ごしていましたが、この1年でようやく、なぜと考えられるようになりました。「勉強する」スタートラインにようやく立った気分です。

文化部長 あいさつ  
文化部 部長 猪熊修太郎

今年度は文化部の部長を任され自分に出来るか不安でしたが、渡壁副部長と部員さんに助けられ全うする事が出来ました。

そして、何よりも会員・会員家族のご協力があればこそで、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

